

看護師の手指衛生に関する組織風土尺度 Ver.1.0

2019年4月25日

作成 桐 明 孝光 (日本医科大学千葉北総病院)
西岡 みどり (国立看護大学校)
網中 眞由美 (国立看護大学校)
枚木 優子 (国立国際医療研究センター病院)

研究代表者 西岡 みどり (国立看護大学校)

2018年度科学研究費助成事業
「医療関連感染サーベイランスを活用した感染防止ケアの有効性と経済性(基盤研究 B)」
JSPC 科研費 18H03079

はじめに

これまで、手指衛生遵守率向上のために教育やフィードバックなど看護師個人への介入の努力が行われてきましたが、遵守率は高くても約80%です¹⁾。医療従事者の手指衛生行動には、個人要因の他に「組織文化」要因が影響することが指摘されています(図1)。「組織文化」とは、組織メンバーで共有されている価値や信念、規範を含んだ職場環境です。「組織文化」は測定することができないとされています²⁾。しかし、「組織文化」のうち個人が知覚できる特性については「組織風土」と呼び、測定できるものとされています³⁾。これまで、手指衛生に関する「組織風土」を測定する尺度はありませんでした。そこで、「看護師の手指衛生に関する組織風土尺度 Ver.1.0」を開発しました。

これからの手指衛生推進には、個人への介入に加えて「組織文化」への介入も必要と考えます。「組織文化」への介入は時間もかかり容易ではありませんが、一時的効果だけでなく効果が維持することも示されています⁴⁾。本尺度を用いて、「組織風土」を測定することで施設の手指衛生遵守率向上のための対策を検討できると考えます。臨床でご活用いただき、尺度改訂に向けてのご意見やご指導を賜りますようお願い申し上げます。

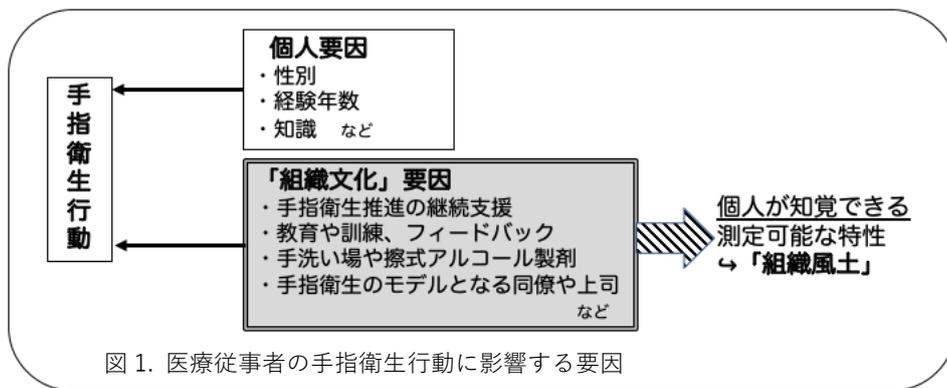


図1. 医療従事者の手指衛生行動に影響する要因

- 1) Gould DJ, Moralejo D, Drey N, Chudleigh JH, Taljaard M: Interventions to improve hand hygiene compliance in patient care. Cochrane Database of Systematic Reviews 2017; Issue 9.
- 2) Ashforth BE: Climate Formation: Issues and Extensions. Acad Manag Rev 1985; 10(4): 837-47.
- 3) Litwin GH, Stringer RA: Motivation and organizational climate. Harvard University, Boston, 1968.
- 4) Larson EL, Early E, Cloonan P, Sugrue S, Parides M: An organizational climate intervention associated with increased handwashing and decreased nosocomial infections. Behav Med 2000; 26(1): 14-22.

尺度の使い方および使用許諾について

- 尺度は改変せずにそのままお使いください。「全体の合計得点」「5つの側面得点」のいずれかを用いて評価してください。逆転項目は含まれていません。
- 臨床で使用される場合には、使用許諾は不要です。
- 研究で使用される場合には、次の①②の使用許諾手続きをお願いします。
 - ①下記の連絡先(桐明と西岡)に研究使用についてメールでご連絡ください。
 - ②院内発表・学会発表・雑誌投稿時には、文献Aを引用文献としてお示しください。
- 文献Aの図や表を雑誌・図書に転載する場合には、一般社団法人 日本環境感染学会に転載手続きをしてください。

文献A

桐明孝光, 網中真由美, 枚木優子, 西岡みどり: 看護師の手指衛生に関する組織風土尺度の開発研究. 環境感染誌 2019; 34(2): 95-105.

連絡先

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅1715

日本医科大学千葉北総病院 桐明 孝光

E-mail: kiriaket@m15.ncn.ac.jp

〒204-8575 東京都清瀬市梅園1丁目2番1号

国立看護大学校 西岡 みどり

E-mail: nishiokam@adm.ncn.ac.jp

看護師の手指衛生に関する組織風土尺度 Ver.1.0

あなたの現時点での一番近いと思う回答の数字を丸で囲んでください。

尺度の使い方および使用許諾について ・尺度は変更せずそのままお使いください。「全体の合計得点」「5つの側面得点」のいずれかをを用いて評価してください。逆転項目は含まれていません。 ・臨床で使用される場合には、使用許諾は不要です。 ・研究で使用される場合には、次の①②の使用許諾手続きをお願いします。 ①下記の連絡先(桐明と西岡)に研究使用についてメールでご連絡ください。 ②院内発表・学会発表・雑誌投稿時には、文献Aを引用文献としてお示しください。 ・文献Aの図や表を雑誌・図書に転載する場合には、一般社団法人 日本環境感染学会に転載手続きをしてください。 文献A 桐明孝光, 網中真由美, 枚木優子, 西岡みどり: 看護師の手指衛生に関する組織風土尺度の開発研究. 環境感染誌 2019; 34(2): 95-105. 本尺度は、国立看護大学校 Web サイトに掲載しています。 http://www.ncn.ac.jp/for/060/medical.html		全く そう 思わない	そう 思わない	どちら とも いえない	そう 思う	とても そう 思う	尺度 得点
物品 配備 環境 側面	1. 所属部署では手洗い場が使いやすい場所に配備されている	1	2	3	4	5	側面 得点 □ 点
	2. 所属部署では手指衛生製剤(手指消毒薬、液体石鹼)が使いやすい場所に配備されている	1	2	3	4	5	
	3. 所属部署では必要な个人防护具(PPE)が使いやすい場所に配備されている	1	2	3	4	5	
	4. 所属部署では鋭利物廃棄容器が使いやすい場所に配備されている	1	2	3	4	5	
所属 部署 環境 側面	5. 所属部署の職員は互いに尊重し合っている	1	2	3	4	5	側面 得点 □ 点
	6. 所属部署の医師と看護師のコミュニケーションは良好である	1	2	3	4	5	
	7. 所属部署では他職種(医師以外)と看護師のコミュニケーションは良好である	1	2	3	4	5	
	8. 所属部署では患者は職員に声をかけやすい	1	2	3	4	5	
	9. 自分の仕事に裁量権がある	1	2	3	4	5	
	10. 私は所属部署で働くことを誇りに思う	1	2	3	4	5	
上司 環境 側面	11. 上司は手指衛生を重視している	1	2	3	4	5	側面 得点 □ 点
	12. 上司は部下が感染対策に関する研修に参加することを奨励している	1	2	3	4	5	
	13. 上司は手指衛生を率先して行っている	1	2	3	4	5	
	14. 上司は部下の手指衛生遵守状況を把握している	1	2	3	4	5	
	15. 病院では各部署で適切に手指衛生を行なっている職員が評価されている	1	2	3	4	5	
	16. 上司は手指衛生ができていない部下を褒めてくれる	1	2	3	4	5	
	17. 上司は部下の良い行いを褒めている	1	2	3	4	5	
	18. 上司は手指衛生を行っていない部下を注意している	1	2	3	4	5	
病院 の 手 指 衛 生 活 動 環 境 側 面	19. 病院の医療安全組織は積極的に活動している	1	2	3	4	5	側面 得点 □ 点
	20. 病院幹部は手指衛生重視を明言している	1	2	3	4	5	
	21. 病院は手指衛生遵守向上のために積極的に取り組んでいる	1	2	3	4	5	
	22. 病院では十分な手指衛生教育が行われている	1	2	3	4	5	
	23. 病院では全職員に手指衛生に関する資料を配布している	1	2	3	4	5	
	24. 病院は職員に手指衛生製品について説明をしている	1	2	3	4	5	
	25. 病院では職員は手指衛生について継続的に学んでいる	1	2	3	4	5	
病院 環 境 側 面	26. 病院は医療の質を重視している	1	2	3	4	5	側面 得点 □ 点
	27. 病院の運営には柔軟性がある	1	2	3	4	5	
	28. 病院は職員を尊重している	1	2	3	4	5	
	29. 病院では業務に必要な情報は職員間で共有されている	1	2	3	4	5	
	30. 病院では方針決定にスタッフ職員が参画している	1	2	3	4	5	
	31. 病院には十分なキャリア開発システムがある	1	2	3	4	5	
	32. 病院には業績や能力に応じた公平な昇進システムがある	1	2	3	4	5	
	33. 病院では職員の仕事へのモチベーションが高い	1	2	3	4	5	
	34. 病院は質の高い医療を提供している	1	2	3	4	5	

※本尺度は、JSPC 科研費 18H03079 の助成を受けて作成しました。

合計得点 □ 点